

第2回策定委員会 論点整理一覧

資料3

	発言者	発言内容	事務局	修正案
1	三上委員 (小学校長会)	・具体的取組事例はプランの中にどのような形で載せるのか。取組事例はどのように活用し、どのように載せていくのか。家庭には取組事例ないが、その整合性を含め、どのような形で載せていくのか。	・関係団体の具体的取組は、家庭に向かって取り組み、家庭の食育を関係団体みんなで推進する作りになっている。具体的取組は、施策体系の表に載せる予定である。	無し
2	池田副委員長 (高等学校長会)	・ヘルスマイトと食生活改善推進員の標記が混在している。	・修正します。	修正
3	池田副委員長 (高等学校長会)	・「肥満」と「やせ」は深刻な問題であるが、「やせ」に取り組む内容が少ない。もっと指導を多くするべきではないか。第4章(「各分野の役割と取組」)の施策をきちんとしなければならない。やせで栄養失調の親が子どもを産むという問題がある。	・望ましくない食に対する世代の連鎖を防ぐことを落とし込む内容を含め、事務局で検討する。	<p>第4章 各分野の役割と取組</p> <p>2 幼児教育・保育施設、小・中学校等の具体的取組事例(P41)</p> <p>「栄養教諭等による食に関する指導の実施」の内容を教育委員会発行の「平成26年度学校教育指導資料 学校における食に関する指導について」に基づき変更 素案(たたき台)(P35)</p> <p>「学年ごとの年間指導計画にそって、日々の給食を食育に関する指導の生きた教材として活用し、食育についての知識を学ぶ。」</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>素案(P41)</p> <p>「食に関する指導の目標(①食事の重要性, ②心身の健康, ③食品を選択する能力, ④感謝の心, ⑤社会性, ⑥食文化)ごとに発達の段階に応じて、各学年の目標を設定し、食育について指導する。」に変更</p> <p>5 行政の具体的取組事例に新規事業の追加(P45)</p> <p>(取組)「はこだてげんきな子 食育プラン」の具体的取組の情報発信 (内容)「肥満」、「やせ」、「こどもの生活習慣病」や関係団体の食育の取組等の食に関する情報をホームページで発信する。</p> <p>5 行政の具体的取組事例の内容の変更(P45, 46)</p> <p>(取組)健診や教室における食育啓発事業の実施 各種イベント時における食育啓発事業の実施 (内容)以下のとおり変更 素案(たたき台)(P39)</p> <p>“望ましい栄養や食生活等についての相談対応や情報提供等を行い”</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>素案(P45, 46)</p> <p>“望ましい栄養バランスや食生活、歯や口腔の健康等についての相談対応や情報提供等を行い”</p> <p>※ コラム8「食と健康の関係について②」(健康のために過度のダイエットは禁物)の掲載(P27)</p>
	伊藤委員 (栄養教育研究会)	・(池田副委員長からの学校での取組に対する質問に対し)		

第2回策定委員会 論点整理一覧

資料3

4	伊藤委員 (栄養教育研究会)	・(第5章目標値)「夕食後におやつを食べる子どもを減らす」について、出典元の調査はおやつを夕食前か夕食後に食べるかどうかについて調査したものである。一概に夕食後におやつを食べる子どもを減らすということには疑問を感じる。夕食後に食べるおやつの方を考えた方向もあるのではないかと。	・「早寝・早起き・朝ごはん」の実践のための観点が大きかったが、家庭の重点取組のアとカの整合性を考えたときに、おやつの方もあると思う。再検討が必要と考える。 ・間食とおやつについて、分かりやすく再検討したい。	<p>第2章 前計画の評価結果について</p> <p>4 食をめぐる現状と課題(1) 食について (P20) 「小・中学生がよく食べるおやつ(間食)」について、文章での説明しなかつたので、全国値と比較したグラフを追加(P23)</p> <p>第4章 各分野の役割と取組</p> <p>1 家庭の重点取組(P39) ・間食とおやつ(間食)の表記が混在していた。→ おやつ(間食)で統一 ・素案(たたき台)(P34) 「カ おやつは、牛乳・乳製品、果物を中心にして、甘い飲み物やお菓子は控えましょう。」 ↓ 素案(P39) 「オ おやつ(間食)は、食事のリズムやバランスをくずさないよう、油脂分の多い物や甘い物の食べすぎのほか、習慣化にも注意し、上手にとりましょう。」に変更</p> <p>※ コラム5「望ましいおやつ(間食)とは？」(P21)およびコラム13、16「おやつ(間食)について①②」(①P34、②P46)として、おやつ(間食)に関する内容を掲載し、「おやつ=間食」、「おやつは必ずしもお菓子とは限らない」と表記</p> <p>第5章 食育の推進のための目標値(P51) ・「夕食後におやつを食べる子どもを減らす」を削除 (理由)この調査結果は、単純におやつを夕食前に食べるか夕食後に食べるかを聞いたもので、家庭における様々な状況から、目標値にはそぐわないと判断したため。 ・食育推進にあたっては、おやつ(間食)の選び方、食べ方等の視点を盛り込んでいく。</p>
	池田副委員長 (高等学校長会)	・牛乳・乳製品、果物は副食か？おやつというとならえ方を考えるから、問題になるのでは。「おやつは、牛乳・乳製品、果物を中心にして～」の文章から「牛乳・乳製品」の部分削除し、「おやつ等」とし、「甘いものやお菓子や控えましょう」ではだめなのか。		
	木下委員 (公募委員)	・食前、食後のどちらでも、お菓子が常習化するの怖い。習慣にお菓子を食べることはだめとか、おやつはこういうものを選んだらよいということも子どもでも分かるように項目に入れたら良いのでは。	・間食とおやつ(間食)の境界線は、わかりやすくできるようにもう少し検討したい。	
	猪上委員長 (学識経験者)	・おやつをどういう範疇にするのかその境目をはっきりして、文章に入れ込んで欲しい。		
5	池田副委員長 (高等学校長会)	・偏食や食事のマナーの問題も取り上げて欲しい。	・「はこだてげんきなこ」のキャッチフレーズでも取り上げているので、いろいろな場面で発信していければよいと考える。	・さらに強調するため、コラムで偏食や食事のマナーについて盛り込む。 コラム7「～主な食事のマナー～」(P24) コラム9「～食と健康の関係について③～(不規則な食生活と生活習慣病)」(P29)
6	中村委員 (南かやべ漁協)	・小・中学生に対する出前講座を実施しており、さらに現場に来た時は指導することもできるので、それらを含んだ計画を立ててもらえれば、協力する。	・(検討する)	第4章 各分野の役割と取組 4 生産者・事業者の具体的取組事例に追加(P43) (取組)食育出前講座の実施 (内容)小・中学生に、地場産の農水産物や乳製品等加工品についての理解を深めてもらうため、生産者や事業者による出前講座を実施する。 (取組団体)農業協同組合、漁業協同組合、函館昆布同業会、乳業メーカー等